

(議事の要旨)

開始 14 時 01 分

[西田委員]

ただいまから、平成 24 年度第 4 回教育委員会定例会を開会いたします。

田口委員長から、本日の定例会に際して欠席届が提出されております。本日の議事進行は委員長職務代理者の私、西田が行いますのでよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、本日は傍聴希望者がいらっしゃいますので、傍聴を許可したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員]

異議なしと認め、傍聴を許可します。

(傍聴者入室)

[西田委員]

本日の会議録署名は、高木委員にお願いいたします。

本日の案件は、議案 2 件、報告事項 3 件です。

それでは、議事に入ります。議案第 24 号・教育委員会職員人事の専決処分について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第 24 号 教育委員会職員人事の専決処分について

[松本庶務課長]

教育委員会職員人事の専決処分について、でございます。

提案理由でございます。教育委員会職員に対する人事異動に伴う人事発令について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により人事発令を行いましたので、報告し承認を求めるものでございます。

2 ページをお開きいただきたいと思います。

平成 24 年 7 月 1 日付発令、5 名。

職層名、職務名、氏名、勤務(命)等につきましては記載のとおりでございます。

説明については以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

[西田委員]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

[西田委員]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員]

ないようですので、ご質問、ご意見は終結します。

お諮りします。教育委員会職員人事の専決処分について、を原案のとおり承認することに異議ございませんか。

(「異議なし」と声あり)

[西田委員]

異議なしと認めます。議案第 2 4 号は原案のとおり承認されました。

[西田委員]

議案第 2 5 号・教育委員会職員人事について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第 2 5 号 教育委員会職員人事について

[松本庶務課長]

議案第 2 5 号・教育委員会職員人事について、でございます。

提案理由につきましては、教育委員会職員に対して人事発令を行うものでございます。

4 ページをお開きください。

平成 2 4 年 7 月 3 1 日付発令、1 名。

職層名、職務名、氏名等につきましては記載のとおりでございます。

説明については以上です。ご審議のほどよろしくお願いします。

[西田委員]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

[西田委員]

ご質問はございませんか。なければご意見を伺います。

[西田委員]

ないようですので、ご質問、ご意見はこれにて終結します。

お諮りします。教育委員会職員人事について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員]

異議なしと認めます。議案第 2 5 号は原案のとおり可決されました。

[西田委員]

報告事項に入ります。報告事項第 7 号・平成 2 4 年第 2 回日野市議会定例会の報告、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第 7 号 平成 2 4 年第 2 回日野市議会定例会の報告

[松本庶務課長]

報告事項第 7 号・平成 2 4 年第 2 回日野市議会定例会の報告でございます。

6 ページをお開きください。

会期につきましては、6 月 1 日から 6 月 2 2 日までの 2 2 日間でございます。

一般質問でございます。質問者が 1 9 名ございまして、そのうち教育委員会関係の質問が 1 2 名の方からございました。質問の件数につきましては全部で 3 3 件、うち教育委員

会関係が14件でございます。

教育委員会関係の一般質問等の要旨につきましては、7ページから11ページの別表1のとおりでございます。

議案でございます。市長提出議案が15件、議員提出議案が8件ございました。そのうち教育委員会に関するものは1件でございます。

平成24年度日野市一般会計補正予算でございます。補正総額が1億4317万3千円、うち教育費につきましては1138万9千円の増となっております。予算総額につきましては519億2317万3千円、そのうち教育費につきましては56億3405万6千円となっております。なお、教育費の内訳につきましては12ページの別表2のとおりでございます。

請願につきましては、教育委員会に関するものが1件、継続審査のものでございます。

学校給食用食材の放射性物質の測定を行い、1キログラム当たり40ベクレル以下の基準を適用することを市に要請する陳情ということで、今回は不採択ということになっております。

以上で議会の報告を終わらせていただきたいと思います。

[西田委員]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

[西田委員]

なければ、報告事項第7号を終了します。

[西田委員]

報告事項第8号・要綱の制定及び改廃の報告（平成24年4月～6月）、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第8号 要綱の制定及び改廃の報告（平成24年4月～6月）

[松本庶務課長]

報告事項第8号・要綱の制定及び改廃の報告（平成24年4月～6月）、です。

14ページをお開きいただきたいと思います。

要綱制定改廃一覧ということで平成24年4月～6月の第1四半期ものをここに掲載しております。要綱の名称、適用日、制定・改廃の内容につきましては、記載のとおりでございます。

以上でございます。

[西田委員]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

[西田委員]

なければ、報告事項第8号を終了します。

[西田委員]

報告事項第9号・平成23年度学校評価の結果報告、について事務局より報告をお願い

特別支援教育の充実では、校内委員会を定期的に行い、特別支援教育コーディネーターが中心となって組織的な取組が進んでいます。「ひのスタンダード」の考え方を採り入れて教育環境の整備や通常の学級における特別支援教育の在り方への理解も進んでいます。個々の児童・生徒の実態を的確に把握した上で、より一層個に応じた支援に努める必要がございます。

幼保・小・中連携教育の充実につきましては、学校間、教員間の交流が進み、授業交流も積極的に行われました。今後は交流の質を高めたり、子ども同士の交流を充実させ、連携を生かした特色ある学校づくりを進める必要があります。

生活指導の充実につきましては、挨拶や授業規律の指導、規範意識の醸成、問題行動の対応に成果を上げています。さらに生徒会活動等の充実により、生徒が自主的に行動していくことができる生活指導が求められます。

また細かな法的根拠は7番のところに示させていただきました。後ほどご参照ください。

18ページから21ページの折り込み資料がございますが、これは平成23年度の学校経営重点計画評価シートのまとめでございます。学校ごとに先ほど申し上げました4つの重点施策と学校ごとに加えた項目をそれぞれ評価いたしまして自校での分析を行い、さらに改善策を立てて24年度に生かしていくという手順になっております。18、19ページに小学校、20ページに中学校、21ページに幼稚園のまとめを掲載しております。

なお、数値の上の「取」という文字でございますが、これは教師の取組の「取」を示しており、取組の指標を表しております。成功の「成」という文字は子どもに表れた成果の指標を表しております。この指標は4段階で評価をしておりますが、16ページ3の一番の下のアスタリスクマークに表記いたしましたとおり、取組指標、成果指標ともに4段階のうちの2の段階を教師、子どもの現状として設定しておりますので、3、4がついた場合は現状に比べ改善、向上が見られた状態とご理解ください。

以上で説明を終わります。

[西田委員]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

岡本委員。

[岡本委員]

昨日、学校訪問がありましたので、現場では大奮闘されて学校経営をされているという認識を強くしております。2点ほどお伺いさせていただきたいと思います。

先ほどの話にありましたようにこのフローは、よりよい学校を目指してという目的に沿った学校評価の全体のフローと伺いました。このフローによると、5月にWeb等で学校経営重点計画をアップするというスケジュールになっていますけれども、私が見た限りでは、アップするタイミングに各校バラつきがあったのではないかなと思います。このことは、年度がスタートするにあたっての基本的な新年度の学校経営重点計画でございますので、教育委員会としてもきちんと把握をされたほうがいいのではないかと思います。

2点目として、現場ではなかなか大変なこともある中、よくぞここまで評価としてまとめたと思いますけれども、ただ、まとめのやり方として、各学校で評価指数が違います。これは、もちろん各学校の特色ある教育を進めるということですので一つの考え方だと思いますが、時系列と申しまししょうか、時間軸の評価と申しまししょうか、そのような要素もこのまとめに入っていれば、目指す特色ある学校を、どのように支援して的確に施策として組み込むことができるかという、非常にいい根拠あるいは評価になると思います。市民の方々も恐らくこういった評価を非常に参考にしていると思いますし、この評価はこれま

で先人がいろいろ積み上げてここまできた、素晴らしいコミュニケーションツールだと思います。そういった意味でも、まとめをされる場合に時間軸等の要素を入れていただければ、その学校がどのようによりよくなっているのかということが発見できるのではないかと思います。

以上です。

〔西田委員 〕

今の2点について、事務局よりお願いします。

〔島川統括指導主事 〕

まず1点目のホームページのアップに関係する部分でございますが、学校評価につきましては、家庭、地域に向けて公表していくことは大変大切なものでございますので、今後改めてきちんと設定をしてまいりたいと考えております。

2点目でございます。時間軸を入れた評価についてでございますが、この学校評価は短期目標だけでなく中期目標についても学校で記載しておりますので、この中期目標を照らしながら、学校評価というものをどのように編成しているのかということ、具体的な形は今後検討させていただくことになりますけれども、是非、今後の学校評価に入れていきたいと思います。

〔西田委員 〕

ほかにございませんか。

〔高木委員 〕

2点ほどお願い、感じたことを述べさせていただきます。

学校評価制度については平成21年度から実施されて本年で4年目ということで、目的や意義、教育委員会の役割については十分理解がされており、導入当初の混乱はなくなって徐々に関係者は習熟しつつあるのかなと思います。しかし、現場にとってはフォーマットの内容といいますか整理された内容を見るとかなりの負担になっているのではないかなと私自身は感じています。1年間の中できちんと計画をし、3月までにすべてのPDCAサイクルを回し、対策まで行うというのは本当に無理がないのかなと思います。実施4年目ということですから、現場の皆さんの感じるところや実際負担となっているところについて、教育委員会としても十分把握しながら、よりよい制度、より有効な制度の構築を目指していく必要があると思います。

もう1点が、指標の取扱いですけれども、各校から出てきた指標を拝見しますと、学校によって表の1、2、3、4段階の決め方が違うということもあって、18ページから19ページまでの表を見て、単純に4が一番いいのだと思ってしまいますが、実はそう単純な話ではなくて、目標設定から達成度に至るまでの意味するところが各校ごとに異なっており、なかなか数字だけでは読み取れない部分があるように思います。この評価はコミュニケーションツールとしての活用という目的もありますので、是非数字が一人歩きすることがないように、誤解を招かないように展開していただければありがたいと思います。

また、指標に関して今は4段階ですが、特に1の段階以下になってしまいますと数字からはある基準未満ということは読み取れるのですが、どのくらいのレベルなのかというこ

とが分かりにくい部分があります。これは評価をする上での負担との関係もありますが、例えばもう少し細分化するとか、何か工夫をしていただけるとより良い仕組みになっていくのではと感じますので、是非ご検討をお願いします。

〔西田委員〕

今の点についてはいかがでしょうか。事務局よりお願いします。

〔島川統括指導主事〕

1点目の学校の困難さ、負担の部分でございますけれども、先ほどの1つ前のご質問のホームページのアップの実態とも絡んでくると思いますが、やはり学校が4月、5月の段階でなかなかアップできないというところにはそれなりの理由というか難しさがあると思いますので、具体的に現在、どんなところで困難を感じているのかということをしつかり把握し、改善に努めてまいりたいと考えております。

2点目でございますが、評価指標の数字でございますが、これは今ご意見いただきましたとおり、様々な課題を含んでおりますので、この指標についての検討とともに、このまとめに今回一覧として指標も表していますけれども、このまとめの方法についても併せて検討してまいりたいと思います。

〔西田委員〕

ほかにございませんでしょうか。教育長。

〔米田教育長〕

一番大事なことは各学校が自律的に特色ある学校づくりを進めていることです。そして我々教育委員会はその応援をすることが一番大事ということでございます。

それから16ページの4番でございます。学校や保護者、地域住民等に学校の現状と課題や思いを共有するとともに、学校が目指す方向性を共有し、よりよい学校へしていく参画意識を高めるためのコミュニケーションツールということでございます。これは、学校だけでは解決できない問題も多く、多くの協力を得て改善を図っていくということでございます。

各学校が今、何を目指しているのか、そして今どういう頑張りをしているのか、どういう段階にあるのかということも多くの人と共有をして、よりよい学校にしていくということでございます。今日いろいろな意見をいただきました。さらにこの学校評価制度の本旨を深めていきたいと思っておりますので、私としてもそう感じました。

〔西田委員〕

ほかにございませんか。

〔西田委員〕

なければ報告事項第9号を終了します。

〔西田委員〕

次に平成24年8月の行事予定について、事務局より説明をお願いします。

※平成24年8月の行事予定については省略

〔西田委員〕

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了しました。これにて平成24年度第4回教育委員会定例会を閉会といたします。

閉会 14時30分